

桂坂山の手倶楽部だより

(第27号)

平成24年5月1日発行

桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



新年度のご挨拶

会長 八木 兵司

新緑の映える清々しい季節を迎えておりますが、会員の皆様方それぞれお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年の定例総会に於きまして会長に選ばれて二年目になりましたが、会則によりまして今年度もう一年間会長を務めさせて頂くことになりました。昨年度同様引き続きよろしくお願い申し上げます。

当倶楽部は昨年創立二十周年を迎えて一連の記念事業を成功裏に終えることが出来ました。会員の皆様方には、この記念事業を初めとする当倶楽部の諸活動に対しまして、いろいろとご協力を頂きありがとうございます。

そして、今年度から三十周年に向けて新たなスタートを切ることにありますが、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

全国的に老人倶楽部が衰退傾向にある中で、幸い当倶楽部は現在過去最高の会員数を維持しながら



同好会の数も過去最高の十七に増えて、ますます充実しつつあります。

今年度も広報活動を積極的に進めて新会員を募りながら更なる発展を目指して行きたいと思っております。

具体的には、先の定例総会でご承認頂きました事業計画を遂行して行くことに致しますが、その中でも、当倶楽部の活動の中心である同好会活動の支援策の検討、増加傾向にある高齢会員の皆様にご参加頂ける活動の検討、地域との連携の推進等に特に目を向けて行きたいと考えております。

折に触れて会員の皆様方のご意見をお伺いしながら取り組んで行きたいと思っておりますので、当倶楽部発展のために積極的なご参画の程よろしくお願い申し上げます。

倶楽部の諸活動を通じて、会員の皆様方の生活が少しでも充実したものになるように願いながら、今年度のご挨拶とさせていただきます。

同好会だより

映画鑑賞同好会のスタートにあたって

発起人 岡村 英明

2月18日、山の手倶楽部役員会にて、昨年暮れに賛同頂いた10人の方々と一緒に届けていた「映画鑑賞同好会」が承認されました。丁度その頃、五木寛之さんの新著「下山の思想」(幻冬舎新書240)最終章に「郷愁に身をまかせることは、それぞれの個人にとって、疑いなき真実の時間である。(中略)郷愁を自信をもって楽しもう、というのが私の提言である。」とあり、目からうろこが落ちる思いで、この本との奇遇に感謝しました。

というのも、青春時代に見た古い映画への「郷愁」が高じて「映画鑑賞同好会」を作る?!などの行動は、高齢化と現実逃避の見本のようなものではないかと、内心忸怩たる思いの自分がいたからです。でもこの本のお陰で目が覚めました。

五木さんがいわれているように、(還らぬ夏)の実感をかみしめながら、過去の時代を追憶してノスタルジーにひたる。それは、現実から眼をそらし過去を追想したとしても、逃避ではなく、未来を夢見て心を躍らせるのと同じ人間的な行為だと思います。

映画に限って言えば、好きなジャンルは十人十色、そこに自分の人生そのものがあります。

会員の皆さんも会員でない方も、この同好会のスタートを機に、身近な「映画」に目を向けて頂き、心ゆくまで「贅沢な郷愁」を楽しむ時間をお持ち下さい。

私は、無料券を探すなどして、分相応のお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

なお、“郷愁”に浸るためには、外出され乗り物も利用されます。ちょっとした怪我や事故も想定内におかねばなりません。程良い「老人クラブ傷害保険」がありますので、ご利用の向きは岡村英明TEL:332-1400迄お知らせ下さい。いつでも手続きいたします。

その他のお知らせ

1. 第21回定例総会開催

事務局 岡村 重臣

去る、4月21日、当倶楽部の第21回定例総会がふれあい会館において、会員95名の参加を得て開催されました。当方の司会で最初に、物故された藤本武さん、藤井京一さん、立野和之さんのご冥福を祈り全員で黙祷をし、次に八木会長の挨拶で始まりました。

総会の議長には第2倶楽部の乗本政三氏が選出され、各議案は審議の結果すべて承認されました。その後、八木会長より、当倶楽部のますますの発展のため、新年度の事業計画を積極的に推進したい旨が述べられました。

続いて、米寿を迎えられた加藤嘉男さん、西澤美知さん、島中喜代子さん、細谷ハツエさん、伊東禎子さん、上久保潤次郎さんの表彰が行われ、最後に新任の役員、地域委員、同好会責任者の紹介が行われて総会は終了しました。

総会終了後に京都市沓掛地域包括支援センターの木村桂子さんより、高齢者のサポートについてのお話を伺いました。



親睦会

2.

事務局 岡村 重臣

第21回定例総会の終了後、2階大枝の間に会場を移し、八木会長の挨拶に続いて松本副会長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

青山正男委員の司会進行も軽快に、同好会代表によるPRを挟んで、そこかしこで歓談の輪がひろがり盛り上がりました。その後、ビンゴゲームを全員で楽しみ、2時過ぎ、岡村副会長の三本締めで親睦会はお開きとなりました。

今回は112名と過去最高の出席者を得て会場は窮屈な状態となりましたが、席間が狭くなった分、より親睦が深まったのではないかと感じた次第です。



3. ロータリーに姉妹都市キエフの花文字 桂坂緑水会代表 徳光 俊三

皆さんお気づきでしょうか。桂坂本通りを登り切りロータリーの一旦停止線の10時方向（カナートイズミヤ駐車場南東斜面）の土堤が耕され、「キエフ」と読み取れます。

これは、昨年11月、京都市の姉妹都市キエフ（ウクライナ）市長が訪日された際、「友好40周年記念」に花の種を門川市長に贈られ、この度、京都市から桂坂緑水会に播種～育苗～植付けの協力申し入れを受けて「花床」を準備しているものです。

今、桂坂緑水会の会員がここに植える花（百日草、マリーゴールド、きんせんか、ラバテラ、ダリア、コチア等）の苗を育てていますので、予定では5月25日（金）7時30分から植え付け作業を行い、午前中には「キエフ」の花文字が浮かびあがるはずです。

桂坂緑水会は、はるばる東欧から日本へ来たこれらの花が、桂坂のシンボルゾーンを彩り、文字通り両都市の友好親善に“花を添えてほしい”と願って作業をしております。

4. 「総会報告」 事務局

当倶楽部の第21回総会は、4月21日ふれあい会館で開催され議案（2）②平成24年度一般会計予算案が、下表の通り修正提案され承認を得ましたので、会員の皆様にご報告致します。なお、その他の項目は議案書の通り承認されました。

項目	修正前	修正予算案
収入の部 助成金	240,000 円	160,000 円
収入の部 合計	1,095,410 円	1,015,410 円
支出の部 予備費	120,410 円	40,410 円
支出の部 合計	1,095,410 円	1,015,410 円

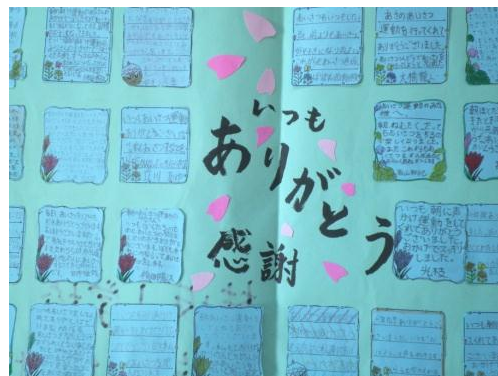
5. 「地域の安心・安全感謝の集い」開催される

会長 八木 兵司

平成24年3月23日に、桂坂小学校の終業式に先立ち同校体育館において表題の集いが開催されました。小学校に係る地域の13の諸団体長が招待され、子供たちの代表者から感謝の言葉を書いた寄せ書きをそれぞれ受け取りました。

山の手倶楽部に対しては、二つのクラスから学期初めの朝の挨拶活動に対する子供たちの感謝の言葉が寄せられていました（一つのクラスは8班の感謝のメッセージが、もう一つのクラスは36名全員の名前入りで一人一人の感謝のメッセージが記入されていました）。

声掛け活動に参加して頂いた会員の皆様にお礼を兼ねてご報告致します。



6. 「野鳥遊園へのお誘い」

当倶楽部では、趣味の同好会のメンバーが野鳥遊園の展示コーナーで自分達の制作した作品を月替わりで展示しています。これは野鳥遊園のご厚意により平成19年から始まったもので、我々同好会員にとって作品制作の上で大変励みになっています。折角の労作ですので、皆様にもたまには野鳥遊園方面へご散策頂き、是非ご鑑賞下さいませようご案内申し上げます。

今後の展示内容と展示期間は以下の通りです。

俳句同好会：5月、6月 絵画同好会：7月、8月
書道同好会：9月、10月 写真同好会：11月、12月

今年度の主な行事予定

5/28 (月)	第20回区老連 G・G 大会	10/17 (水)	洛西地域ウォーキング大会
6/20 (水)	ふれあいペタンク交流大会	10/24(水)~25(木)	区老連一泊旅行
6/16 (土)	区老連囲碁・将棋大会	10/25(木)~26(金)	趣味の作品展
7/11 (水)	区老連第5回ペタンク大会	10/29 (月)	区老連第7回ボウリング大会
8/11 (土)	第1回合同会議	11/ 6 (火)	区老連親睦 G・G 大会
9/1(土)~2(日)	市老連作品展・すこやかフェア	11/21 (水)	区老連カラオケの集い
9/7(金)~8(土)	区老連文化芸能祭	1/12 (土)	新年互礼会
9/19 (水)	区老連第1回スカイクロス大会	3/ 9 (土)	第2回合同会議
9/未定	ふれあいトーク		
9/15	カザラックコンサート		

今年度の編集委員 西澤四郎 岡村英明 小松久夫 森位洋平 岡村重臣